

全国安全週間を迎えるにあたってのご挨拶

愛媛労働基準協会 今治支部
支部長 松浦 孝寿

全国安全週間を迎えるにあたりまして、愛媛労働基準協会今治支部の支部長を務めさせて頂いております、太陽石油株式会社四国事業所長の松浦よりご挨拶を申し上げます。

7月1日から、『持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場』をスローガンに全国安全週間が始まります。6月は準備月間ということで、会員各事業所の皆様におかれましては、すでに活動を始めていることと存じます。

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で94回目を迎えます。

この間、労働災害は長期的には減少しており、令和2年の労働災害による死亡者数は3年連続で過去最少となる見込みです。

一方、休業4日以上労働災害による死傷者数は、高齢者の労働災害、「転倒」や「動作の反動・無理な動作」による労働災害が年々増加していることに加え、新型コロナウイルス感染症の罹患による労働災害の増加により、平成14年以降で最多となる見込みです。

こうした状況において、労働災害を減少させるためには、働く高齢者の増加等の就業構造の変化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会情勢の変化等に対応し、将来を見据えた持続可能な安全管理を継続して実施する必要があります。

また、働く方一人ひとりが、かけがえのない存在であり、一人の被災者も出さないという人命尊重の基本理念の下、日々の仕事が安心して安全なものとなるよう、不断の努力が求められています。各事業場におかれましても、事業場全員が全国安全週間の基本理念及びスローガンを理解し、安全な職場環境の更なる構築をお願いします。

今年は例年になく早く梅雨入りし、熱中症への罹患にも注意しなければなりません。熱中症予防対策×新型コロナウイルス感染防止も含めて、職場安全活動の点検、改善に努めていただき、事業場全員が安全で事故、災害の無い安心して働ける職場づくりを進められますよう、皆様のご尽力をお願い申し上げまして、ご挨拶といたします。